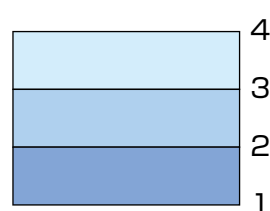


# 滑川市 防災マップ

浜加積地区

海面からの高さ



国道・高速道路  
県道・市道

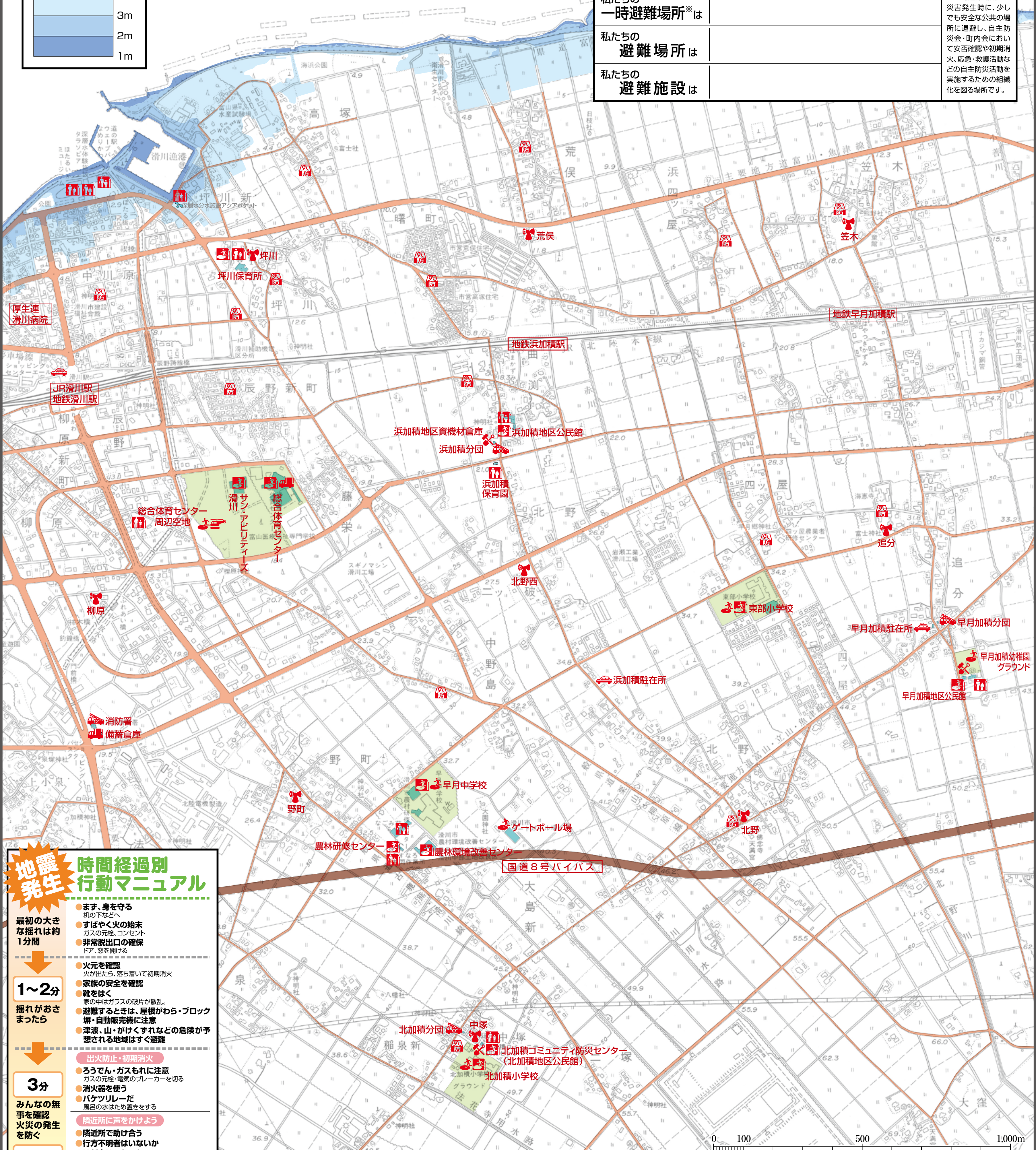
家族や自主防災会・町内会で話し合っ決めた避難場所等を書いておきましょう。

私たちの  
一時避難場所※は

私たちの  
避難場所は

私たちの  
避難施設は

※一時避難場所とは  
災害発生時に、少し  
でも安全な公共の場  
所に避難し、自主防  
災会・町内会におい  
て安否確認や初期消  
火、応急・救護活動な  
どの自主防災活動を実  
施するための組織  
化を図る場所です。



## 地震発生 時間経過別 行動マニュアル

- 最初の大きな揺れは約1分間
- 1～2分 揺れがおさまったら
- まず、身を守る  
机の下などへ
  - すばやく火の始末  
ガスの元栓、コンセント
  - 非常出口の確保  
ドア、窓を開ける
  - 火元を確認  
火が出たら、落ち着いて初期消火
  - 家族の安全を確認
  - 靴をはく  
家の中はガラスの破片が散乱。
  - 避難するときは、屋根がわら・ブロック  
塀・自動販売機に注意
  - 津波、山・がけがすれなどの危険が予  
想される地域はすぐ避難
  - 出火防止・初期消火
  - ろうでん・ガスもれに注意  
ガスの元栓・電気のブレーカーを切る
  - 消火器を使う
  - バケツリレーだ  
風呂の水はため置きをする
  - 隣近所に声をかけよう
  - 隣近所で助け合う
  - 行方不明者はいないか
  - けが人はいないか
  - 大声で知らせる
  - 救出・救護を
  - 防災機関・自主防災組織の情報を確認
  - デマにまどわされないように
  - 避難時に車は絶対に使用しない
  - 電話は緊急連絡を優先する
  - 水、食糧はたくわえているものでまかなう
  - 3日間の飲料水と食糧の備蓄をしておく
  - 災害情報・被害情報の収集
  - 無理はやめよう
  - 助け合いの心が大切
  - こわれた家に入らない
- 10分 数時間 3日
- 協力して消火活動、救出・救護活動を

## 凡 例

マーク	名 称	説 明
	市指定避難場所	災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に、危険を回避するための場所です。
	市指定避難施設	災害によって被害を受け、又は受けるおそれがある場合に、応急生活をする場所です。

	消防署・消防団	●火災・救急は119へ ●火災・救急のお問い合わせは475-9999へ
	警察署・交番 駐在所	●事件・事故は110へ ●その他のお問い合わせは475-0110へ
	コミュニティ 防災資機材倉庫	災害発生時に利用できる防災資機材が保管されています。
	防災行政無線	災害発生時には、市役所・消防署から情報をお知らせします。

	防火水槽	お近くの防火水槽を日頃から確認しておきましょう。
	災害弱者施設	保育所・幼稚園、社会福祉施設、観光施設など、災害発生時の避難が不自由な方が利用する施設です。
	災害物資輸送拠点 集積場所	災害発生時の緊急物資の輸送・集積拠点です。
	臨時ヘリポート	災害時には負傷者の搬送や緊急物資の輸送拠点となります。